



THE MAUREEN AND MIKE MANSFIELD FOUNDATION

**日米原子力ワーキンググループ 公開セミナー**  
**ポスト3・11時代：日米が直面する戦略的優先課題**  
 プレゼンテーション&公開セミナー in 大阪

日本と米国は、グローバル安全保障・核不拡散、エネルギー安全保障、規制基準、商業的な機会等、共通の国益を反映する原子力の諸問題について、歴史的にみても密接な協力関係にあります。しかしながら福島第一原子力発電所の事故を受けて、一般世論や政治的な争点は、日本のエネルギー政策をめぐるイデオロギー的な国内の懸念に集約され、日米原子力協力という点にはほとんど関心が向けられておりません。

モーリン・アンド・マイク・マンズフィールド財団は、米国科学者連盟、笹川平和財団から支援を受け、福島第一原子力発電所の事故を受けた幅広い原子力関連事項について議論を行うことを目的に、日米フォーラムである「日米原子力ワーキンググループ」を結成いたしました。ワシントンDC、東京、ウィーンにて、原子力政策コミュニティ内の重要な役割を担う関係者らとの会合を踏まえ、このたび提言書を纏め、発表いたしました。

その提言書の内容を基に、今秋大阪にて公開セミナーを実施いたします。会場では、原子力賛成・反対の双方の立場から、そして一般の方々から幅広い御意見をお伺いし、コメンテーターの星野俊也氏、黒川清氏と共にディスカッションを深めてまいりたいと考えます。皆様のご参加をお待ちいたしております。

日時：2013年10月1日(火) 13:30-15:30  
 会場：大阪大学中之島センター 10F 佐治敬三メモリアルホール  
 (大阪市北区中之島4-3-53) <http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>  
 定員 100名(申し込み先着順) 参加費無料、日英同時通訳付  
 主催：モーリン・アンド・マイク・マンズフィールド財団  
 共催：大阪大学大学院国際公共政策研究科

**※参加される方は9月25日までに<tokyoinfo@mansfieldfn.org>宛てに、①名前 ②所属 ③連絡先を明記の上ご登録ください。**

お問い合わせ：マンズフィールド財団 TEL:03-5403-7228

プログラム

- |             |   |
|-------------|---|
| 13:30-13:40 | 開会挨拶/プロジェクトの概要の説明<br>ライアン・シェイファー マンズフィールド財団プログラム・ディレクター<br>L・ゴードン・フレイク マンズフィールド財団所長、タスクフォース議長<br>星野俊也 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授、研究科長   |
| 13:40-14:35 | パネルディスカッション：ポスト福島における日米が直面する戦略的優先課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋山信将 一橋大学教授、日本国際問題研究所(JIIA)客員研究員</li> <li>・ クレイグ・ハンセン バブコック・アンド・ウィルコックス原子力エネルギー社 原子力製造部 ヴァイス・プレジデント</li> <li>・ シャロン・スクアソーニ 米国戦略国際問題研究所(CSIS) 核不拡散プログラム・ディレクター</li> <li>・ 田中伸男 前国際エネルギー機関(IEA)事務局長</li> </ul> モデレーター：チャールズ・ファークソン アメリカ科学者連盟会長 |
| 14:35-15:00 | コメント 星野俊也 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授、研究科長<br>黒川清 政策研究大学院大学アカデミックフェロー  |
| 15:00-15:25 | 質疑応答  |
| 15:25-15:30 | 閉会挨拶 L・ゴードン・フレイク マンズフィールド財団所長、タスクフォース議長   |

## タスクフォースメンバー



**秋山信将** 一橋大学教授/日本国際問題研究所(JIIA) 客員研究員

一橋大学教授、日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター(JIIA)研究員。それ以前は JIIA の主任研究員(2005-2007)、九州大学大学院法学部で非常勤講師(2005-

2006)を務めた。



**クレイグ・ハンセン** バブコック・アンド・ウィルコックス 原子力エネルギー社 原子力製造部 ヴァイス・プレジデント

原子力業界の管理職に 25 年間勤務。バブコック・アンド・ウィルコックス社原子力エネルギー部の副社長を務める。バブコック・アンド・ウィルコックス原子力エネルギー社、バブコック・アンド・ウィルコックス原子力発電グループ社にて「ビジネス開発及び戦略的同盟室」副社長、「原子力生産ライン」部長を歴任。



**シャロン・スクアソーニ** 米国戦略国際問題研究所(CSIS)/核不拡散プログラム・ディレクター

米国戦略国際問題研究所(CSIS)核不拡散プログラム・ディレクター及び上級研究員。それ以前はカーネギー国際平和基金の核拡散防止プログラムシニア・アソシエイトを務め、2002年から2007年まで、米国議会図書館議会調査局にて、大量破壊兵器に関し、米国議会に助言を与えた。またニュースウィーク誌ワシントン支部で記者も務めた。



**田中伸男** 前国際エネルギー機関(IEA)事務局長/財団法人日本エネルギー経済研究所特別顧問

2007年9月から2011年9月まで、国際エネルギー機関事務局長。それ以前は経済開発協力機構(OECD)科学技術産業局長。1973年通商産業省入省後、様々な高位官職を歴任。1998年から2000年まで駐米日本大使館公使(貿易、エネルギー担当)を務めた。直近では、通商政策局通商機構部長として、世界貿易機関(WTO)での貿易交渉を導いた。現在は財団法人日本エネルギー経済研究所の特別顧問を務める。

## プログラム ディレクター

**ライアン・シェイファー** モーリン・アンド・マイクマンズフィールド財団 アソシエイト・ディレクター

日米タスクフォース、マンズフィールド日米委員会、乗用車排出ガス削減のための統合的アプローチに関する日米協力、日米原子力ワーキンググループを含め、多数の財団日本プログラムを担当。その他、ベトナム及び韓国の立法機関との交流や日本・米国・アジアの三国協力促進プログラムにも携わる。

## コメンテーター



**星野俊也**

大阪大学大学院国際公共政策研究科教授、研究科長

在アメリカ合衆国日本国大使館専門調査員、財団法人日本国際問題研究所主任研究員、プリンストン大学客員研究員、コロンビア大学客員研究員等を経て、2003年より大阪大学大学院国際公共政策研究科教授、2011年より同大学院同研究科長を務める。この間、国際連合日本政府代表部公使参事官(2006~08年)等を歴任。専門は国際政治、国際安全保障、国連研究。



**黒川清**

政策研究大学院大学アカデミックフェロー/日本医療政策機構代表理事/Chair and Founder, IMPACT Foundation Japan

69~84年在米、UCLA 医学部内科教授、東大医学部教授、東海大医学部長他を経て現職。日本学術会議会長、内閣特別顧問、国会の福島原発事故調査委員会委員長などを歴任。

ブログ: <http://www.KiyoshiKurokawa.com/jp>

## タスクフォース議長



**チャールズ・ファークソン** 日米原子力ワーキンググループ共同議長/アメリカ科学者連盟会長

2010年1月1日よりアメリカ科学者連盟会長を務める。10年前はシニア・リサーチ・アナリスト及び原子力政策プロジェクトのディレクターとして核拡散と軍備管理問題に携わる。外交問題評議会(CFR)では、ウィリアム・J・ベリー氏とブレント・スコウクロフト氏が議長を務める「米国核兵器政策に関するタスクフォース」のプロジェクト・ディレクターを務めた。加えて、軍備管理、気候変動、エネルギー政策、核及び放射線テロリズムを専門とし、ジョージタウン大学安全保障プログラムで准教授を務める。



**L・ゴードン・フレイク** モーリン・アンド・マイクマンズフィールド財団 所長

1999年2月、モーリン・アンド・マイクマンズフィールド財団所長就任。前職として、韓国経済研究所研究調査部長、大西洋評議会紛争解決プログラム上席研究員/アソシエイト ディレクター。米国の北朝鮮人権委員会および韓国経済研究所諮問委員会のメンバーであると同時に、ロンドンにある国際戦略研究所(IISS)のメンバーであり、アジア太平洋安全保障協力会議米国委員会(USCSCAP)の委員を務める。